

岡山多文化共生政策研究会 第1回 議事概要

日 時 平成 21 年 4 月 24 日（金） 10:00～12:00

場 所 岡山国際交流センター B1F レプションホール

出席者 岡山大学教員 6 名 岡山市、倉敷市、津山市及び総社市職員（財）岡山県国際交流協会職員 岡山県国際課職員 5 名

○岡山大学 あいさつ

岡山大学と岡山県で、2007 年 9 月以来 2 ヶ月に 1 回のペースで研究会を開催し、多文化共生の議論をしてきた。今後、施策に反映するためには、現状を把握する客観的なデータが必要となりアンケート調査の検討を行う。このたび、市町村、協会にも参加していただき研究を進めることになった。大学としても行政に何らかの協力をさせていただきたい。

○事務局から、規約（案）について、及び議事概要を県のホームページに掲載することを説明し了承された。

○岡山大学から座長が選任され、議事進行を進めることとなり、会員が自己紹介を行った。

（倉敷市）

・倉敷市は、在住外国人が 5,500 人を超えている。朝鮮・韓国籍、中国籍が多い。今後は、医療、教育、防災について、母国語でのサポートが必要。

（津山市）

・津山市では、不況の影響で、ここ 2 ヶ月で 60 人ほど登録者数が減っており、一時は 1000 人を超えていたが、現在 900 人ほどになっている。地元には、長く住んでいる方が多く、今年度 CLAIR の事業で生活ガイドブックの改訂を予定している。研究会での議論を活かしたい。

（総社市）

・総社市は、ブラジル籍の方が多く、外国人の占める割合が県下でトップ。交流と多文化共生をキーワードに今年 4 月機構改革を行ったところ。昨年 4 月に設立された西日本初のブラジル人学校エスコラ・モモタロウとも連携を進めていきたい。

（岡山県）

・岡山県としては、安全・安心して生活してもらうことが政策目標。医療・福祉などで危機管理の面でサポートや、国際的視野をもった人材育成も行いたい。

（国際交流協会）

・国際交流協会では、多言語での相談や医療通訳の派遣などの事業を行っているが、研究会に参加し、外国人の方が必要とする支援内容に近づけていきたい。

（岡山大学）

- ・国の施策は出入国管理から住民保護に向かっている。研究会で、自治体の意見を聞きたい。
- ・市や県のレベルで、多文化共生について岡山大学ができることを模索してきた。研究会で議論

を進めたい。

- ・アンケート調査のデータ分析を担当させていただく。
- ・国の30万人留学生受入計画に基づき受入を進めている。さまざまな問題があるものの、留学生が、住みよい町であることが大前提。
- ・外国人への情報提供などについて、専門分野の知識や実務経験をお役に立てたい。

○多文化共生に関する岡山大学法学部の研究教育活動について（資料 3）

- ・これまで、学内経費や学外経費により、多文化共生に関わる研究を進めてきており、勉強会（岡山多文化共生政策研究会の前身）においても報告を行ってきた。
- ・また、「岡山からの国際貢献を考える」をテーマに講演会を開催してきた。

○岡山多文化共生政策研究会について（資料 4）

岡山県の多文化共生施策の概要と研究会の目的、研究会の行う事業について説明を行った。

- ・在住外国人生活状況調査の内容検討
- ・調査結果を踏まえた施策等の研究 等

○今後のスケジュール等について（資料5、6）

質疑応答を行い、引き続き意見交換を行った。

○質疑応答・意見交換

（岡山県）

- ・今後の方針として、中間報告について公開の場をもつことやテーマによっては、ワーキンググループも考えていることを共通理解としたい。
- ・アンケートの成果を次期国際化戦略プランに生かしたい。議論を通じて地域の国際化を巡るトレンドも知りたい。

（岡山大学）

- ・今年度は、アンケートの調査内容の検討や分析が中心的な仕事となる。
- ・フランクに議論ができる場にしたい。現場の問題も提供していただきたい。
- ・経済危機に対応する、緊急な施策についても話をしてみたい。

（市）

- ・アンケートへの市町村の協力とは具体的に何か。アンケート対象者の抽出方法が難しい。
- ・設問数は、どれくらいが適当か。多すぎると回答してくれない。
- ・適当でない設問も見受けられる。
- ・外国人登録者を対象とすると日本国籍を取得した人の意見が反映できない。

（岡山大学・岡山県）

- ・在住外国人の登録者からの無作為抽出を依頼することになるが、具体的な方法については、協議させていただく。
- ・設問及び設問数については、御意見をいただきたい。
- ・オールドカマーにとっては、無意味な質問もある。検討していきたい。
- ・全部を調査することは難しい。個別に対応する必要がある場合もあるかもしれない。

(市)

- ・アンケートの依頼状はどうなるのか。
- ・回収率は、どの程度を想定しているのか。督促は行うのか。

(岡山大学・岡山県)

- ・アンケートは岡山県名で発送し、照会先も県を明記する。
- ・回収率は各県等のアンケートをベースに考えている。督促は、状況を見て見たい。

(市)

- ・身辺調査に近い感覚を受ける可能性がある。

(岡山大学・岡山県)

- ・依頼にあたっては、アンケートの目的・照会先を明記した送付状を付ける。送付状の案を至急作成し、市の担当者に送付させていただくこととしたい。設問の案と併せて検討していただきたい。
- ・また、市の直面している問題等あれば教えていただきたい。
- ・5月中旬までに意見をお願いしたい。

○岡山県 閉会あいさつ

活発な意見をありがとうございました。岡山大学、各市、国際交流協会の方と歩調あわせながら研究会を進めていきたいのでよろしく願いしたい。

○事務局から6月下旬頃に第2回を開催したい旨報告し、閉会。